

第5章 保健・衛生

1 結核患者数の推移 (表1、図1) 【統計編 5-第1表】

令和元年の結核患者の登録率(人口10万対)は、17.3(前年18.5)と減少傾向にある。

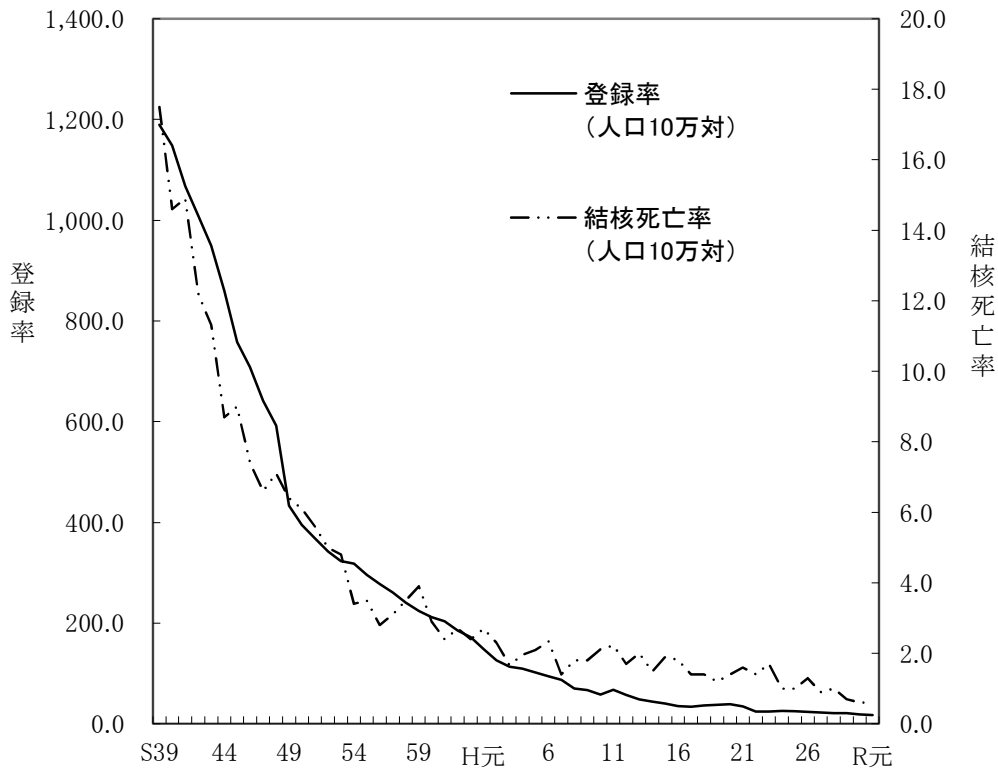
また、結核による死亡率(人口10万対)も減少傾向だが、令和元年は0.6で、前年と同率となっている。

表1 結核患者数の推移

年次	年末現在 登録患者数	登録率 (人口10万対)	新登録 結核患者数	り患率 (人口10万対)	結核死亡数	結核死亡率 (人口10万対)
昭和45	12,575	758.0	1,709	103.0	149	9.0
50	6,932	394.7	1,237	70.0	108	6.1
55	5,475	296.2	953	52.0	64	3.5
60	4,028	211.7	658	34.2	56	2.9
平成7	1,750	87.3	521	26.0	29	1.4
12	1,164	57.5	438	21.6	34	1.7
17	693	34.2	296	14.6	28	1.4
22	483	24.1	220	11.0	29	1.4
27	446	22.6	192	9.7	18	0.9
28	410	20.9	183	9.3	19	1.0
29	409	20.9	184	9.4	13	0.7
30	360	18.5	171	8.8	11	0.6
令和元	335	17.3	156	8.0	12	0.6

【出典】結核登録者情報システム

図1 登録率(人口10万対)、結核死亡率(人口10万対)の推移



【出典】結核登録者情報システム

2 人工妊娠中絶件数の推移 (表2、図2) 【統計編 6-第8表】

人工妊娠中絶件数は、昭和34年の24,046件をピークに減少傾向にあり、令和元年度は2,187件となっている。

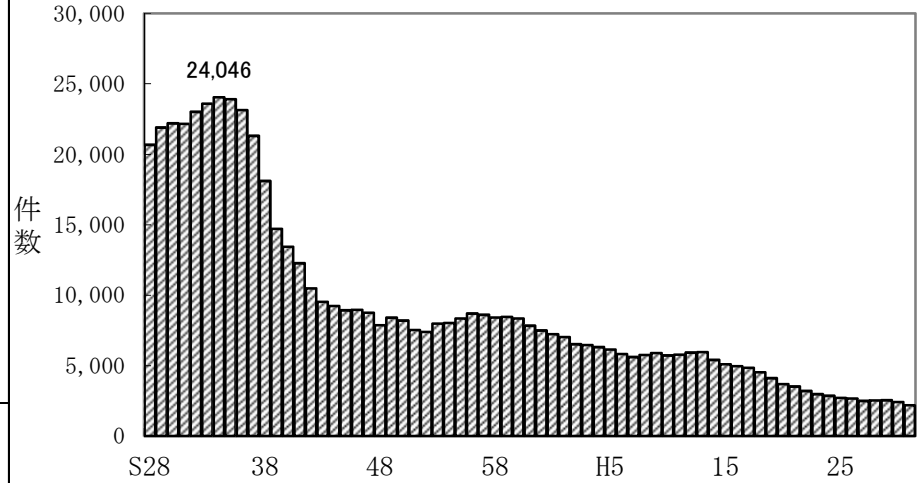
表2 人工妊娠中絶件数の推移

年次	人工妊娠中絶件数
昭和30	22,191
35	23,904
40	13,429
45	8,922
50	8,197
55	8,347
60	8,339
平成2	6,520
7	5,605
12	5,924
17	4,847
22	3,203
27	2,499
28	2,535
29	2,543
30	2,414
令和元	2,187

(注)平成14年以降は年度

【出典】衛生行政報告例

図2 人工妊娠中絶件数の推移



【出典】衛生行政報告例

3 食中毒事件数・患者数の推移 (表3、図3) 【統計編 4-第3表】

食中毒事件数は、年次によるばらつきが大きく、令和元年は10件である。

また、食中毒の患者数は、事件の規模により大きく左右されるため、年次により大きく変動している。

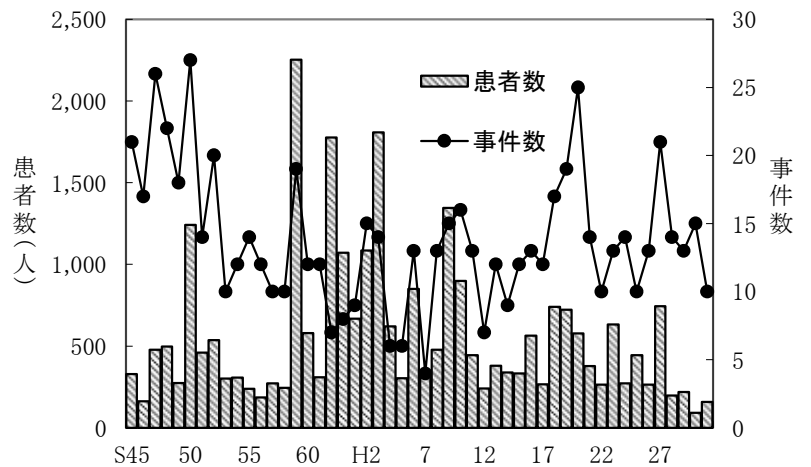
1事件当たりの患者数をみると、令和元年は15.8人となっている。

表3 食中毒事件数等の推移

年次	事件数	患者数	り患率 (人口 10万対)	1事件 当たり 患者数
昭和50	27	1241	70.7	46.0
55	14	238	12.9	17.0
60	12	581	30.2	48.4
平成2	15	1084	55.1	72.3
7	4	341	17.0	85.3
12	7	242	12.0	34.6
17	12	266	13.1	22.2
22	10	264	13.1	26.4
27	21	745	37.8	35.5
28	14	197	10.0	14.1
29	13	219	11.2	16.8
30	15	91	4.7	6.1
令和元	10	158	8.2	15.8

【出典】食中毒統計

図3 食中毒事件数・患者数の推移



【出典】食中毒統計